



第20回 The 20th Meeting of the Japan Mibyou System Association

日本未病システム学会学術総会 サテライトシンポジウム

(共催: 日本未病システム学会 臨床検査部会、公益社団法人 東京都臨床検査技師会)

「臨床検査技師に必要なコミュニケーション能力とは ～ QOLを向上させる検査相談を目指して～」

司会: 森嶋 祥之 (近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部)
下田 勝二 (東京都臨床検査技師会 会長)

- 1) 「サイエンスコミュニケーションと未病」
演者: 丸山 篤芳 (三重大学 社会連携研究センター)
- 2) 「糖尿病をいかに理解していただくか ～より良い指導を目指して～」
演者: 岡村 邦彦 (NTT東日本関東病院 臨床検査部)
- 3) 「追加発言・総合討論」
追加発言: 下田 勝二 (日本臨床衛生検査技師会 常務理事)
総合討論: 「臨床検査技師業務として検査説明を広く浸透するには？」

現代医療が扱う疾患の多くは生活習慣病となり、医療のゴールは病気の治癒ではなく、QOLの向上がメインとなってきています。この生活習慣病対策として重要なことは未病状態からの適切な介入と考えられます。そこで今回、本企画のテーマを「臨床検査技師に必要なコミュニケーション能力とは～QOLを向上させる検査相談を目指して～」とし、第20回日本未病システム学会学術総会のテーマでもある「超高齢社会における未病イノベーション」に向け、未病領域における臨床検査の新たな役割と将来像をコミュニケーションという観点から考察したいと思います。

日時 2013年11月8日 (金) 18:30から20:00 (18:00受付開始)
場所 学術総合センター (一橋大学一橋講内) 東京千代田区一橋
会場 中会議室1-2 (第3会場)
参加費 無料 *先着50名様に軽食を配布します。